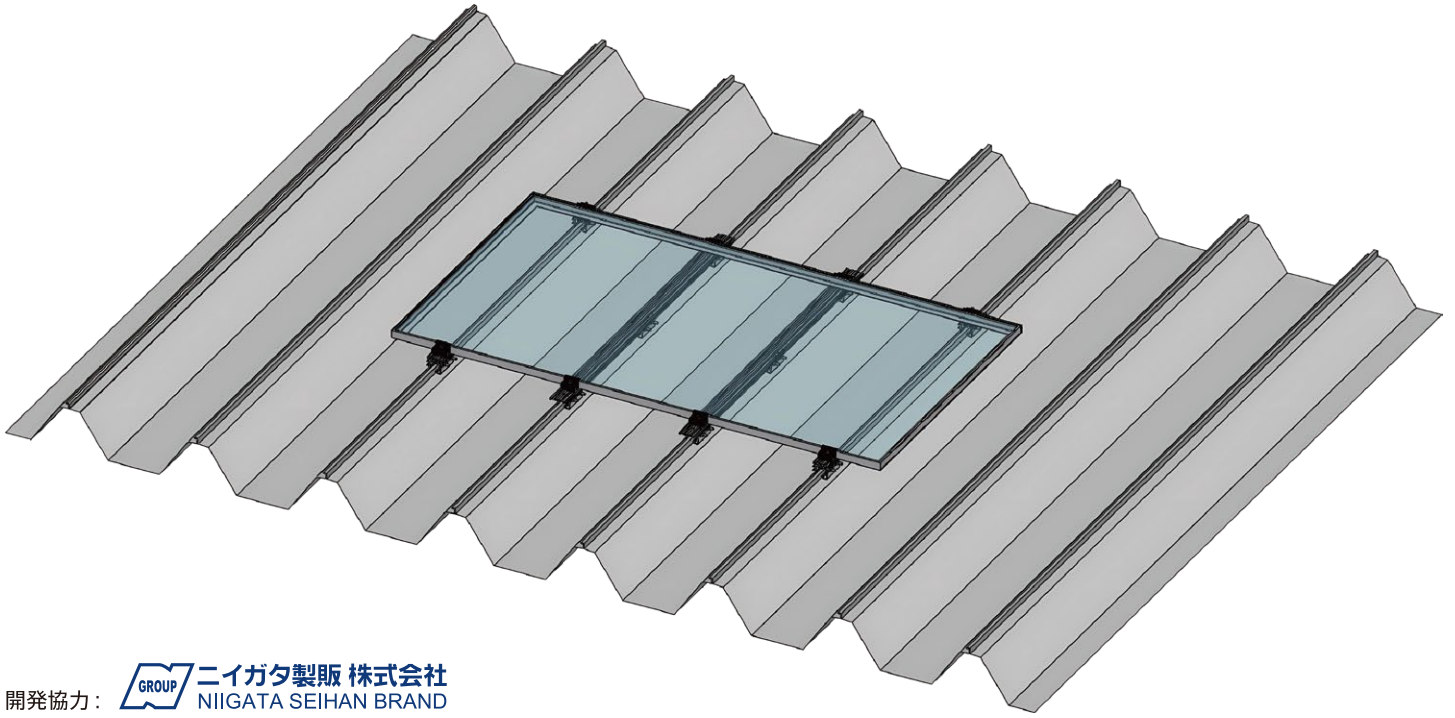


# REC仕様 多雪地域向け補強架台



開発協力:  ニイガタ製販株式会社  
NIIGATA SEIHAN BRAND

## 垂直積雪量最大2.6mの多雪地域でも 太陽光発電システムの設置が可能に



Alpha Pure-R  
パネル対応



積雪荷重  
8000Pa対応

北欧生まれで積雪に強いパネルを持つRECソーラーと多雪地域の経験とノウハウを持つニイガタ製販株式会社が共同開発。「REC仕様 多雪地域向け補強架台」は従来に比べ積雪耐性に優れ、かつコストパフォーマンスが良い設置工法です。これにより今まで設置を諦めていた地域にも安心・安全に設置可能となります。

- ・積雪荷重8,000Pa対応
- ・垂直積雪量最大2.6mに対応
- ・ラック工法に比べ40%コストダウン ※縦積工法
- ・セル割れによる出力低下やソーラーパネルの破損を最小限に
- ・500mmピッチのハゼ式折板屋根に対応

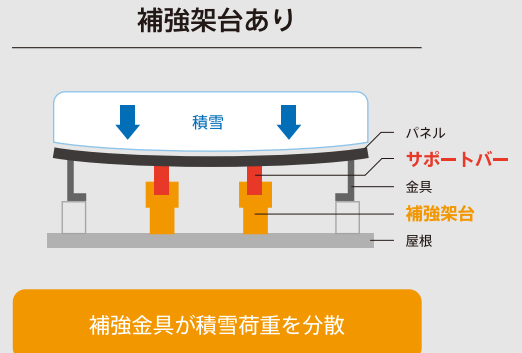
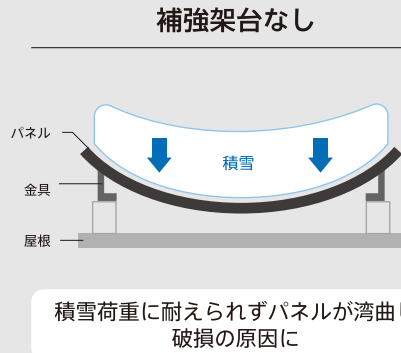
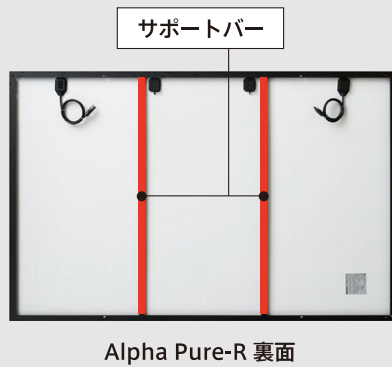
## 業界平均<sup>\*</sup>をはるかに上回る積雪荷重

北欧生まれのRECソーラーパネルは、たわみを抑制するためのサポートバーが裏面に設けられています。この補強架台を使用することにより、垂直積雪量最大2.6mを実現し、積雪2.5mを超えるような多雪地域への設置が可能です。

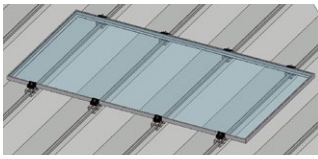
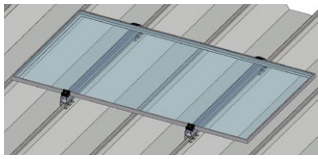
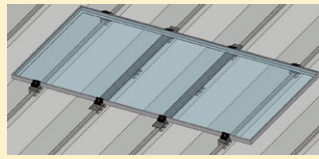
※業界平均は積雪荷重5,400Pa(諸条件による)



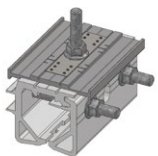
ソーラーパネル及び補強架台の荷重検証風景



### ■各設置工法の比較

	直付け工法	ラック工法(縦棧工法)	REC仕様 多雪地域向け補強架台
架台タイプ			
積雪耐性	×	○	○
架台コスト	○	×	○
特徴	コストは安い、パネルの積雪荷重を最大化できない	パネルの積雪荷重を最大化できるが、架台コストが直付け工法の5倍程度	積雪荷重を最大化でき、架台コストも直付け工法とラック工法の間

### ■部品構成



PVA-HSダブル[ハゼ式折板] 受け金具付(4個使い)<sup>\*</sup>



PVA-HSダブル[ハゼ式折板] 通し受け金具付(2個使い)<sup>\*</sup>



押さえ金具 (8個使い)<sup>\*</sup>

※パネル1枚につき(塩害地域も対応可)

### ■設置条件

対応屋根	ハゼ式折板屋根(500mmピッチ)
最大基準風速	47m/s
最大設置高さ	31m
最大垂直積雪量	266cm

